



ミラノサローネ国際家具見本市: 隔年開催見本市

エウロルーチェ 2017

照明: 4D デザイン、機能性と情動性のバランス

エウロルーチェは出展社にとって新しい国際的なビジネス関係を促進するための最高の場とされています。イタリアの照明メーカーも、諸外国との貿易において2016年1~10月期に外国企業の売上高が13億ユーロを超え、アラブ首長国連邦(前年同期比49.1%増)、スイス(前年同期比19.2%増)、ベルギー(前年同期比6.8%増)など著しい世界的成長を見せています。また、フランス市場でも2016年1~10月期に1億5900万ユーロ相当の輸出高(前年同期比5.9%増)を記録し、現在では業界をリードする市場となっています。

エウロルーチェは今やビジネスの場だけに収まらず、トレンドやインスピレーションのインキュベーターの役割も担っています。今年は、日常のあらゆる場において、より健康に、より高い生活の質を、と考案された未来の照明デザインがどのように適応されていくかを探ります。

業界にとっての重要な課題は、その「機能性」(ニーズに効率的に対応する能力:省エネ)と「情動性」(肉体や感情の認識:利用者満足度)の両立を追求することです。

最新のLED、OLED技術、**知的照明システム**による新技術は、光と屋内スペースとの完全な共生を生み出すために考案されており、光色、明るさ、拡散に焦点を当て、照明が「健康」と「個人の効果性」を促進することを可能にしています。

知的照明システムは、コンピューター制御により**ホームオートメーションシステム**との連携を可能にします。人間の行動や感情に応じて照度、色温度、輝度を最適な光環境へ自動調整しつつ、センサーによりエネルギーの効率化も図ります。照明はコミュニケーションの手段に不可欠な存在となりつつあります。あらゆる環境に適応した照明は人間の感情的な対話を生む要素となります。

エウロルーチェ 2017 では、これらの最新技術がどのような形で新しい照明デザインに反映されるかが大きな見どころです。例えば、コードレス照明の登場により屋内外で幅広く利用できるポータブル照明が普及し、ボーダレスになりつつある住環境のハイブリッド化に拍車を掛けました。

これらのトレンドを受けて、エウロルーチェの出展社は、消費者のニーズに応えるべく、カスタマイズ化された照明の開発に着目しています。照明器具や照明システムは、今や心地よい住環境に必要な不可欠なツールとなりつつあります。